

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和元年11月 8日(金)発行 第 27 号 発行責任者:高橋 弘悦

青少年の主張大会開催



7日、第33回を数える柳津町青少年の主張大会が、本校体育館を会場に開催されました。町内3校の児童生徒も観客として参加し、お互いの主張に耳を傾けました。

本校からは、各学年を代表して3名が発表。1年生の五十嵐祐太くんは、町の課題と自分について、2年生の長谷川寧音さんは、バレーボール部のキャプテンになるまでの葛藤と決意を、3年生土橋 咲希さんは、雑誌編集者の夢を発表してくれました。内容的にも深いものがあり、発表が終わると会場から大きな拍手をいただきました。



1年 五十嵐祐太くん

町の課題をしっかりと分析し、中学生としてどうすればいいかを真剣に考えてくれた発表でした。過疎と高齢化に悩む町、柳津町。これを克服するために、総合的な学習の時間で地域の方に聴いたおもてなしできる町をめざして、自分ができることを述べてくれました。

一つ目はごみのないきれいな町にすること、二つ目はあいさつが飛び交う町にすること。三つ目は、町の行事に積極的に参加して楽しむことです。

中学生がこれらに心がけて生活すれば、きっと柳津町は今よりもずっと魅力的なものになるでしょう。皆さんの、「今の」がなげかりに期待したいと思いました。

2年生 長谷川寧音さん

ずっとあこがれていた「部長」という存在。先輩の部長は、みんなが緊張している時にでも、「絶対勝つぞ。」と強気な言葉をかけてくれ、試合の中でも常に前向きになれる言葉をかけてくれます。

そんな部長にあこがれ、志願してなった部長ながら、理想通りに行かない葛藤を淡々とした口調で述べました。

苦しいときこそ「大丈夫、勝てるよ。」と、仲間を大きな声で励ますことのできる部長をめざしてがんばる寧音さんをこれからも応援します。

3年生 土橋 咲希さん

ひょんなことから感じた雑誌編集者への夢がどんどん膨らんでいった様子がよく分かる発表でした。

将来の夢を聞く機会はこれまでも何度かありましたが、雑誌編集者への夢を、これほど具体的に描いている人は初めてです。

夢を実現するための掲げた三つの目標。「いろいろな言葉を知ること。相手の気持ちをよく考えること。コミュニケーション能力を高くすること。」…は、雑誌編集者のみならず、これからの社会で生きていくために欠くことができない能力だと思います。咲希さんのこれからのがなげかりに期待したいと思います。

読み聞かせ・学習ボランティアをしました

小中学校の交流の一環として、8日、柳津小学校を会場に、柳津小、西山小の児童に読み聞かせと学習ボランティアを実施しました。

読み聞かせを行ったのは1年生。国語の時間を利用して選定した絵本を、小学校1，2年生とともに楽しみました。

学習ボランティアは、小学校3，4年生を2年生が、5，6年生を3年生が担当し、算数の授業に指導補助として参加しました。小学校の算数は、ある面では中学校数学よりも奥が深く、考えさせられる問題が多いものです。ましてや学習支援…。生徒も四苦八苦しながら取り組んでいました。でも、教える経験をするとう理解が深まり、学び方も変わっていくのも事実です。これを機会に、学習に向かう姿勢が変わることを期待しています。

